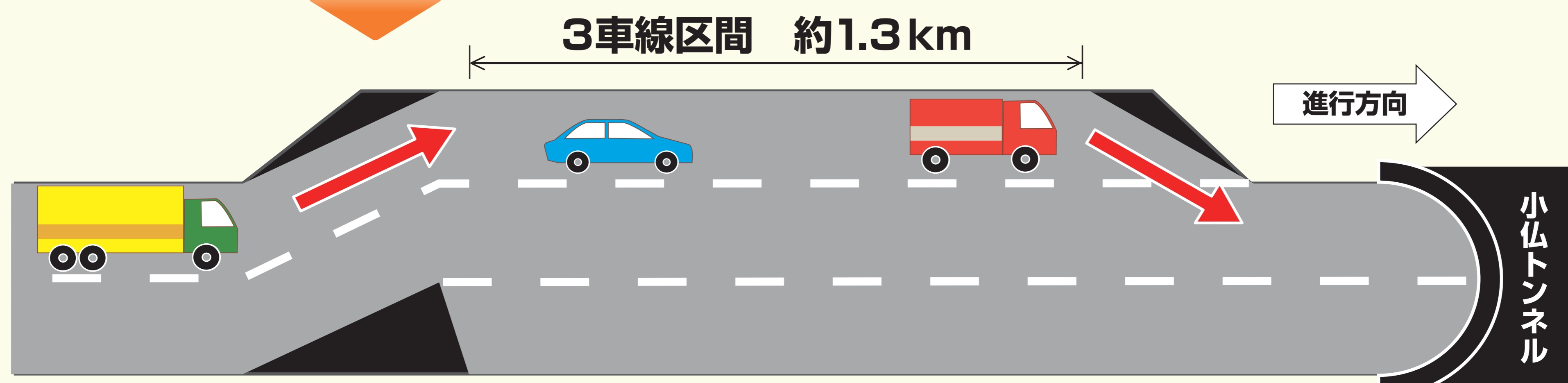
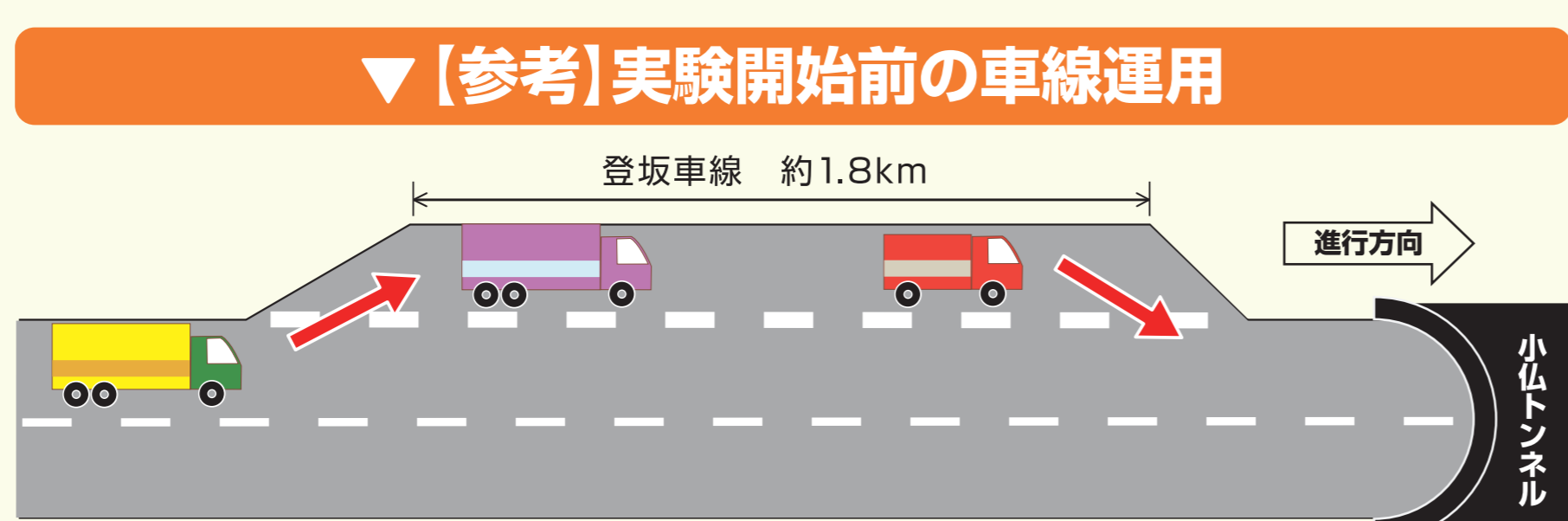


一部区間 3車線に変わります 走行にご注意ください

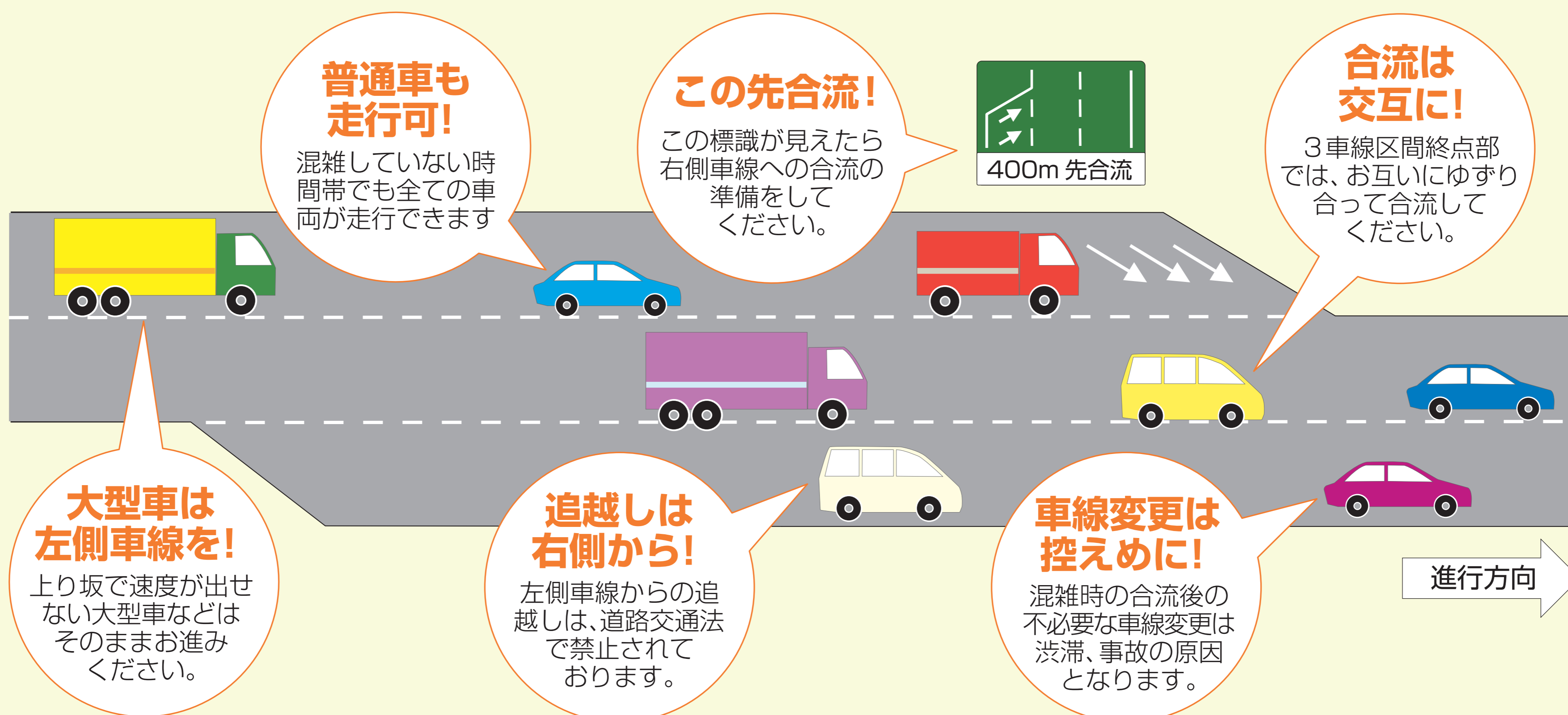
実験期間 平成22年1月28日(木)～平成23年3月下旬(予定)

登坂車線が **走行車線** に変わります



※この模式図の車線シフトはイメージであり、実際は無理なハンドル操作をすることなく走行できます。

実験区間を走行するに当たっての注意点 高速道路では初めての車線運用形式ですのでお気をつけください



なぜこの実験をするの? 実験の目的と期待する効果

1. 渋滞発生を抑制します

交通量が多くなり混雑してくると、少しでも早く走ろうと追越車線に車が集中し、それが渋滞発生の要因の一つとなっています。渋滞が発生する箇所の付近に設置されている登坂車線は、混雑しているときには追越車線に車が過度に集中するのを和らげ、渋滞発生を抑制する効果があります。今回の実験の目的は渋滞発生の更なる抑制を図るものであり、従来登坂車線としてご利用いただいていた車線を走行車線と同じように運用(表図参照)することで、既存の車線をよりバランスよくご利用いただくための実験です。

2. 渋滞の規模を小さくします

渋滞発生が抑制されることにより渋滞している時間・距離が短くなり、渋滞に巻き込まれる車が少なくなります。

3. 相乗効果をもたらします

渋滞が少なくなると、渋滞中の事故の減少、またCO₂排出量の削減など、さまざまな相乗効果が期待できます。